

平成24年度 石巻市総合防災訓練の結果について

《市長コメント》

去る7月8日に実施しました石巻市総合防災訓練の検証について御説明いたします。

今回の検証につきましては、訓練後に、自主防災組織及び町内会等へのアンケート調査、担当課における戸別訪問調査、東北大学災害科学国際研究所による検証などを経て、取りまとめいたしました。

まず、参加者数であります。訓練当日の速報値では11.6%でありましたが、自主防災組織等へのアンケート調査から18.6%、戸別訪問調査において身の安全などの初動行動をとられた方々を入れますと、50.1%の方々が何らかの行動をとられていたことが確認されております。

訓練の成果といたしましては、訓練に際し、避難場所を新たに決められた方や、津波の場合の避難場所を、高台に変更された方が見受けられたこと。

また、食料や飲料水など非常用持出品においては、ほぼ全世帯で用意されていたことなどにより、訓練の実施に伴い、さらに防災意識が高まったものと確信しております。

一方では、訓練しなくとも避難できると考えている方が23%もおられたこと、若年層の訓練参加率が低いこと、また、要援護者の避難対策などの課題も再認識いたしました。

これらの状況につきまして、東北大学災害科学国際研究所の佐藤助教、今井助教に検証していただき、お二人から

◎ 訓練が「津波から避難する場所」を見直す良い機会となったこと。

◎ 地震や津波の発生に関する情報については、普段から複数の情報手段を確保しておくべきであること。

◎ 避難訓練の参加割合は比較的高いものの、今後の改善を要すること。

などの御意見をいただいております。

市といたしましては、訓練の検証を謙虚に受け止め、訓練の内容など改善すべき点は改善するとともに、今後、見直しを予定している地域防災計画の参考とし、災害対応に、役立てていきたいと考えております。

なお、詳しくは別紙資料を御覧願います。